

直近数年間の国税庁総合職（旧1種）職員の採用者数に占める女性の割合は30%以上で推移しており、国税庁の様々なフィールドで女性職員が活躍しています。また、育児休業などの仕事と家庭の両立支援も充実しており、性別問わずライフステージに応じた活躍が可能です。

育児と仕事の両立支援制度（時系列）



## 今後の仕事と育児の両立

私は今、育児休業を取得し、1歳になった子どもの育児に専念しています。日々子どもの成長を見守るのは、とても幸せではありますが、育児はまさに24時間体制の稼働。思っていたよりもハードです。体力には自信がありましたが、10数年ぶりの高熱を出してしまったことも…。

入庁してから出産までの8年間、国税庁本庁に加え、地方勤務や海外留学など様々な業務を経験してきました。夜遅くまで仕事をしたり、毎週のように出張をしていた時期もありました。

育休からの復帰後は、以前と全く同じ働き方を維持するのは当然難しくなるわけで、不安がないかというと嘘になります。しかし、国税庁ではテレワークやフレックスタイム制など、育児をしながら働く女性を支援する体制が整っています。また、周囲のサポートも手厚く、私が育児休業に入る際も温かく送り出してもらえました。

社会全体を見ると、女性に限らず、育児や介護をしながら、仕事をしている方が沢山います。それはもちろん、国税組織においても同じです。

今後、自分自身が仕事と育児の両立を模索していく過程で、同様の事情を抱えた方々と語りながら、「組織全体のパフォーマンスをいかに高めていくか」といった課題に向かい合っていければと考えています。

育児休業中

## 高木 美緒

平成 22 年入庁。米国留学、大阪国税局法人課税課課長補佐、国税庁管理運営課などを経て、平成 30 年より、育児休業中。



## 充実した日々をすごせることに感謝

子供を産む前よりも仕事にかけられる時間が限られているため、あれもこれもすべての仕事に関わることは出来ず、やるべきことの取捨選択を意識的に行うようになりました。

仕事と家庭の両立についてはまず健康第一。子供・夫・自分のだれかが体調を崩すと日常のリズムがくずれするため、食事や睡眠など健康管理には注意しています。また、両立生活をうまくまわすためには情報共有が重要です。家庭では、夫とスマホのアプリでスケジュールを共有し、家族の予定を一元的に管理し、職場では、自分だけで情報を溜め込まず、上司・同僚への情報共有や資料整理を徹底し、「私にしか分からない」という状況にならないよう気をつけています。

国税庁においても、超勤削減やテレワーク等の整備など柔軟に働くための環境が整えられ、職員の意識も変わってきているところです。家庭と仕事の両立は確かに時間がなく、忙しいですが、両方あるからこそ充実した生活となっています。

今後も自分の人生も楽しみつつ、職場・納税者にも貢献できるよう、日々努めていきたいと考えています。

## 利用した制度

第一子、第二子出産の際に、それぞれ産休・育休を取得しました。現在はフレックス制度を使い、保育園のお迎えに行く日は16時に退庁しています。また、午前中2時間だけ年次休暇をとって保育園の参観日に行き、その後テレワークで自宅から勤務するなど、柔軟な働き方を可能にする制度を利用しています。

### 一日のスケジュール

6時00分 起床、朝食準備、家事  
6時30分 子供起床、家族で朝食、子供の登園準備、家事  
7時30分 夫と子供を見送りつつ、家事、身支度  
8時15分 出発  
9時15分 勤務開始  
(保育園に迎えに行く日)  
16時00分 退庁、子供のお迎え  
17時40分 帰宅、お風呂  
18時30分 夕飯、家事  
19時20分 子供と遊ぶ、絵本読み聞かせ  
21時 子供寝かしつけ(なかなか寝ない…) 子供就寝後、自由時間



## 新米パパ・新米係長として

「まー！」1歳半の娘は妻をそう呼びます。よくある話ですが、先を越されました。「三つ子の魂百まで。」もっとアピールしなければ…。

という強い思いのもと、仕事もさながら、朝のお着替え、ご飯、保育園の送り、夕方も時々お迎え、帰宅後は入浴や寝かしつけ、休日は公園遊びなどに日々励んでいます。

妻は民間企業勤務で、両家の実家ともに遠方なので、早期帰宅が何よりの家族孝行です。今年からは係長に昇進し、より仕事の成果が求められますが、帰宅時間へのプレッシャーは良い方向に作用し、生産性が上がったように感じます。また、周囲の理解も欠かせません。この場を借りて改めて感謝の意を申し上げます。

就職活動中はどうしても「ワーク」を重視しがちになりますが、様々な職員の「ライフ」も含めた生き方と、自身のなりたて姿を重ねてみてはどうでしょうか？

「ばばー！」…この原稿を自宅でふと考えていたら聞こえてきました。明日からもまた頑張れそうです。

## 利用した制度

妻の出産前後で配偶者出産休暇（2日）、育児参加のための休暇（5日）を取得しました。また、子どもの発熱時などは、子の看護休暇（年次休暇とは別途、年間5日取得可）も利用しています。

### 一日のスケジュール

7:30 起床、朝食の準備など  
8:00 家族3人で朝食  
8:30 保育園に登園  
9:30 登庁  
12:00 昼食は家からお弁当を持参  
19:00 退庁  
20:00 帰宅。子どもの入浴、寝かしつけ  
21:00 洗濯などの家事と英語の勉強  
24:00 就寝

国税庁 課税部  
消費税室 課長補佐

## 沖本 亜弥

平成 18 年入庁。米国留学、国税庁国際業務課課長補佐、育児休業、国税庁審理室課長補佐などを経て、平成 30 年より現職。

国税庁 課税部  
資産課税課 係長

## 高本 祐貴

平成 27 年入庁。国税庁人事課、国税庁徴収課、横浜中署国税調査官を経て、平成 30 年より現職。